

(第 7 号 2009 年秋版)

松山の今

岩崎公平 (海洋 54 卒)

9 月のシルバーウィークに松山へ行って来ました。休日だったので大学へは行かなかったのですが、大学の最近の状況に興味おありの方は大学のホームページを覗いて見て下さい。文部科学省の 21 世紀 COE プログラムに採択された「沿岸環境科学研究センター」、「地球深部ダイナミクス研究センター」、ノーベル賞候補となった遠藤弥重太先生の「無細胞生命科学工学研究センター」の 3 つの研究センターと、これらのセンターでの研究者を育成する「スーパーサイエンス特別コース」は、地方の大学にありながら日本トップクラスの特色を出しています。また医学部付属病院の「抗加齢センター」では皮膚年齢、血管年齢、脳年齢を評価する抗加齢ドックを実施しています。国立大学（現在は独立行政法人）では珍しく、柔軟いアプローチです。

今回は大学以外の「松山の今」、をご紹介します。何と言っても最大の注目スポットは『坂の上の雲』に関連する名所でしょう。司馬遼太郎原作の『坂の上の雲』は歴史ドラマ化され、この 11 月より NHK で何と 3 年！！かけて放送されます。一番町の電車通りを挟んで、全日空ホテルの反対側、晩翠荘敷地内に

「坂の上の雲ミュージアム」（写真 1）がオープンしています。設計は安藤忠雄で、雲の上をイメージした建物だそうです。中は回廊形式で展示物が見ることができます。

次にご紹介するのは、『坂の上の雲』の主人公の秋山兄弟の生家です（写真 2、3）。場所はロープウェイ街から 50 m ほど入ったところにあり、最近整備されたので我々学生の頃はありませんでした。



1. 坂の上の雲ミュージアム



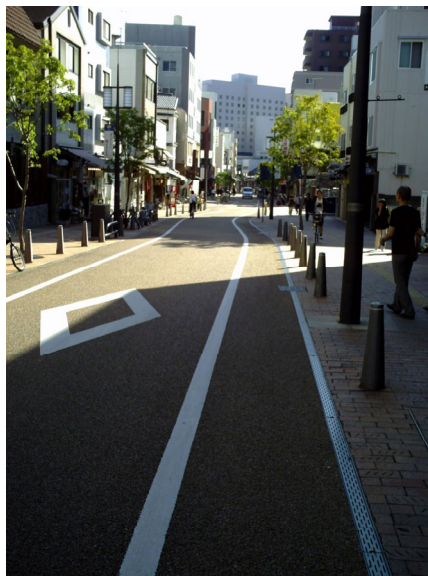
2. 秋山兄弟の生家（プレート）



3. 秋山兄弟の生家

ロープウェイ街は歩道が広く整備され、車道と歩道の間には車止めポストが設置されて、昔と大違いで、歩きやすくなっています（写真4）。

次に特筆すべきは、「松山城ロープウェイ乗り場」です。最近松山へ行ったことがない諸先輩方には驚きではないでしょうか。乗り場がガラス張りの建物となり（写真5）、乗り場、切符売り場の2階へはエスカレーターが整備されています（写真6）。



4. ロープウェイ街



5. ロープウェイ乗り場



6. エスカレーター

いやはや、ロープウェイ街、ロープウェイ乗り場は昔と違ってファッショナブルになりました。

次は、松山の一番の人気スポット道後温泉です。昔は本館前を通る車道がありましたが、今は本館前に車止めがあり車は進入できません（写真7）。ちなみにこの写真を撮影した時は、入館は2時間待ちの行列ができていました。私は仕方なしに、椿湯（みなさん覚えてますか？本館から商店街を抜けたところにある道後温泉の別館です）に入りました。

道後温泉駅前には「からくり時計」があり、30分毎に人形が顔を出します（写真8、9）。



7. 道後温泉本館前



8. からくり時計
（作動時）



9. からくり時計
（平常時）

さて最後にご紹介するのは、学生の頃、日夜闊歩した大街道、銀天街です。大街道入口の雰囲気は昔と変わっていないように思います（写真１０）。が、通りは明るくなり（写真１１）、昔あった店はなくなり、新しい店に代わっています。大街道から銀天街への入口ですが（写真１２）、銀天街は人通りが少なく、昔より活気がないように感じました。



１０．大街道入口



１１．大街道



１２．銀天街入口

（”１”の電飾が消えている）

松山も住居地が郊外へと進み、郊外の大型ショッピングモールへ買い物客は流れており、大街道、銀天街の中心部へ買い物へ来る人は減っているそうです。

その中でも、「明屋（はるや）書店」は今でも健在です（写真１３、１４）。学生時代には立ち読みも含め、何かとお世話になった皆さんも多いかと思います。



１３．明屋書店（大街道店）



１４．明屋書店（銀天街店）

夜の街並はお酒が入っていたため、撮りませんでした。が、昔の店はとうの昔になくなっていて、松山でも夜の店は入れ替わりが激しいようです。卒業以来、松山から離れているOB・OGに、少しでも松山の香りをお伝えできれば。報告おしまい